

平成 29 年度 各種調査結果等を活用した学力保障の取組事例

事務所名	県北教育事務所	学校名	洋野町立中野小学校	TEL	0194-67-2107
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

「一人でも、進んで、続けて、やりぬく、中野の子」実現のため
全職員がおのおのの役割を果たし「学力向上」にかかわる

【今年度の目標】

- ・「読むこと」領域の正答率を60%程度まで上げる。
- ・算数の技能、「数と計算」領域の正答率を平均80%台に保持する。
- ・「量と測定」領域の正答率を70%まで上げる。
- ・社会、算数、理科について、「知識・理解」の正答率平均70%まであげる。そのため「体験・観察～法則性の確認～学習用語とのリンク」を意識して指導するようにする。
- ・新6年生全国学調国語Bの「書くこと」の無解答率を30%以下に抑える。

【組織的な対応を図る上で工夫した点】

- I 学力向上計画
- II 各種調査結果の活用
- III 小中連携
- IV 授業力向上

【具体的な取組】

I 学力向上計画

「学習指導」「小中連携」「学習環境の整備」を学力保障の柱とし、以下の内容について、校長の方針を受けて各主任・担当による計画（P）、全職員による実践（D）、学期ごとの評価（C）、次の課題設定（A）といったPDCAサイクルによる取組を進めている。

1 学習指導

- (1) 主題研究から 海洋教育・総合的な学習の時間における「問題解決的な学習」を生かす
- (2) 訪問指導から 指導主事の招聘
- (3) 実態把握の仕方 指導主事を招聘し「諸調査の活用」と学習指導を学ぶ

2 小中連携

- (1) 授業参観と研究会で「子供」を語る 課題改善の進捗状況 各種調査結果を共有
- (2) 懇親会で「教育」を語る

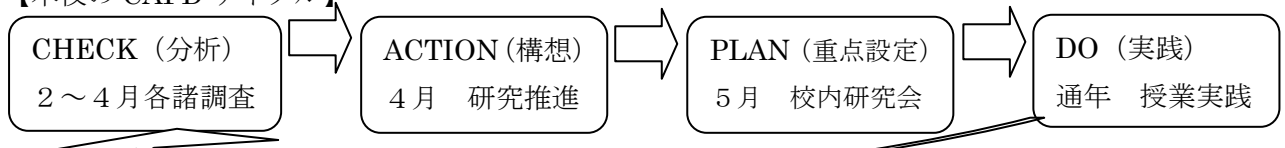
3 学習環境の整備

- (1) 全職員の直接指導 朝学習・放課後補充・読み聞かせ・期末補充週間・歯磨き指導
- (2) ノート指導 家庭学習・学習指導との連携
- (3) 豊かな体験活動 「海は友達」「校外学習」への積極的な参加
- (4) 発表の場の設定 諸行事の「練習ではなく→1時間の学習指導と捉え」課題の設定と感想発表
- (5) 読書指導の充実

II 各種調査結果の活用

1 CAPDサイクルの実行

【本校のCAPDサイクル】



※前項のサイクルを大きなサイクルとし、全国学調・県学調・CRTテストの結果を受けての小さなCAPDサイクルも実行していく。

【全国学調結果の活用】



<5月の校内研修会>

全国学調終了後：研究部を中心に自校採点と分析の実施	
5月	：今年度の全校での指導事項の共通理解 まなびフェストの具体的数値目標の決定と保護者への周知
8月	：正式結果から、分析の妥当性と今後の取組の検討 今後の取組の共通確認と実践

2 重点指導内容の決定

H28年度県学調			H28CRTテスト		H29 全国学調			
国語	正答率	県比	国語		正答率	県平均	全国平均	
話聞	64.7%	104.4%	話聞	78.7%	話聞	66.7%	67.4%	64.9%
書く	17.6%	32.7%	書く	70.2%	書く	55.3%	56.1%	53.4%
読む	67.6%	105.2%	読む	56.7%	読む	45.1%	51.3%	49.2%
伝統	75.5%	108.7%						
合計	66.9%	102.6%						

各種諸調査の結果から、今年度は「書くこと」を重点指導内容と決定した。そして、研究部を中心に、今年度の中野小授業改善案を提案し、意図的に書く活動を授業に取り入れる実践を重ねていくこととした。

年	取組内容
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は学習課題の答えとなるキーワードを子供と確かめながら、学習のまとめを板書する。 ・子供は教師の板書を視写する。 ・次時に前時の想起をする際に、ノートを振り返る。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は学習課題の答えとなるキーワードを子供と確かめ、キーワードを穴埋め型式にしてまとめを板書する。 ・子供はキーワードを埋めながらまとめを書く。 ・一人勉強で、ノートのキーワードを基にして復習をする。 ・次時に前時の想起をする際に、ノートを振り返る。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は学習課題の答えとなるキーワードを子供と確かめる。 ・子供はキーワードをつなぎ合わせて学習のまとめを自力で書き、発表する。 ・教師は子供のまとめの整合性を確かめながら、まとめを板書する。 ・一人勉強で、ノートのキーワードを基にして復習をする。 ・次時に前時の想起をする際に、ノートを振り返る。

新しいことに取り組むのではなく、今まで行ってきた指導を活かしながら「書くこと」を意識した授業実践を重ねていった。

3 学級経営の充実

本校では学力向上の基盤は学級経営の充実と捉えている。そこで、年度当初に「学級経営夢デザイン研修会」を実施したり、学期末ごとに達成状況や反省を共有する時間を設けたりして、よい実践を常に共有できるようにしている。

III 小中連携

1 地区 1 小中の特性を活かし、9 年間で中野地区の子供達を育てていくという観点から、積極的に連携を図った。それぞれの学校の授業参観を適宜設けたり、合同の小中連携研修会を年 2 回実施した。

1 小中連携研修会



【6月の小中連携研修会】

- ・「全国学調」「中1 新入生テスト」の分析結果の共有
- ・学習規律の共通理解
- ・家庭学習の在り方と保護者への啓蒙の仕方の共通確認
- ・小中共通の重点指導内容（「書くこと」「振り返り」）の確認
- ・生徒指導に関わる情報共有

【11月の小中連携研修会】

- ・小中共通の重点指導内容を視点にした授業研究会
- ・家庭学習における小中共通の取組についての意見交流
- ・「県学調」の分析結果の共有
- ・全国学調後の指導についての交流
- ・「見通し」「学習活動」「振り返り」の深め方の確認
- ・「書く活動」の位置付けについての交流

2 まなびフェストでの連携

これまで、学校ごとで作成・配付していたまなびフェストを小中で合わせた。中野小・中での 9 年間の指導の在り方として、PTA 総会や地区懇談会等で繰り返し説明をし推進を図った。作成にあたっては、発達段階に応じた家庭学習など、家庭でも見通しをもって取り組めるよう配慮している。

【小学校】

	進んで学習する子ども	体のじょうぶな子ども	心のゆたかな子ども	みんなのために尽くす子ども
教職員	①わかる授業をします (課題・見直し・話し合い・振り返り) ②授業と連動した宿題で学習の習慣化を図ります。	①「カード・掲示」を活用し「マラソン・実用運動・訓練び等」に主体的に運動できるように取り組ませます。 ②むし菌「0」を目指します。(歯磨き動画)	①あいさつが響き合う学校にするため、先に、いつでも、だれにでも挨拶をします。 ②発達(学年)に応じた課題図書や必読書を配置します。	①海洋教育(復興教育)を先進的に進め「地域の良さを知り、地域を誇りに思う」子どもを育てます。 ②子ども達と一緒に掃除をし、反省会に立ち合います。
数値目標	全単元テスト5割以上 全国学習定数度状調査 ・国算算 A 7割 授業が分かる8割以上 黒学習定数度状調査 ・全教科7割 授業がわかる8割以上 C R T検査 ・各学年8割 毎日(土日も)家庭学習読書	マラソン大会 新体力テスト 全国平均 AB 所得5割 むし菌治療率 5割 はみがき食後3分 はみがきチェック月1回 *保健指導(歯)年1回 *保健指導(体)何1回	学校・いじめ防止生活アンケート(4.6.9.11.2月)その後面談 体験学習 (遠征・校外3回以上) 読書数年間読書冊数「低・中・高年それぞれ100・80・60冊」を目指します。 *読書の量・質・継続 ・学習本コーナー設置 ・おきな読書推進 *集会所と音読発表 学年1 自分から進んで挨拶	海洋教育学習委員会(3回)学習1 海洋教育授業研究会 (授業・研修2) ※「いじめ」をみのがさない100% ※「不登校」をつくらない100% 生活・いじめ防止アンケート5回 地域の行事に参加100%
児童	①自分の考えを持ち、みんなに分かりやすく話します。 ②家庭学習時間「学年×10分+10分(読書含む)」を目標として毎日取り組みます。	①早寝・早起き・歯みがき、多いて登校など規則正しい生活をします。 ②外で天気を選び、目標に向かって、続けて、運動をします。	①あいさつや反省を進んで明るくします。 ②いつも元気に本を読みます。	①係や当番や掃除をまじめにします。 ②どの学年の友達とも、仲良く力を合わせて活動します。
保護者等	①家庭学習時間及び中学校のテスト期間は「ノーメディア」にする等学習環境づくりに努めます。 ②「どう考える、教えて?」考えを伝える場面を意図的につくりします。	①歩いて登校させます。 ②治療には必ず連れて行きます。	①あいさつや反省の習慣化を図ります。 ②家庭での読書時間及び読書環境づくりに努めます。また、月③読書に取り組みます。	①家庭で仕事をさせます。 ②地区子ども会、お祭りや敬老会等の行事には参加させます。

【中学校】

	確かな学力(知)	豊かな心(徳)	健やかな体(体)
教職員	① 家庭学習「70分・80分・90分運動」を定着させ、授業と宿題を連動させます。 ② 朝読書を指導し、年間12冊以上を達成させます。 ③ 各種検定に挑戦させます。 ④ 5教科50問テストで、全員合格(80点以上)を目指します。 ⑤ 海洋教育(復興教育)で、郷土を愛する子どもを育てます。	① 率先してあいさつをします。 ② 清掃は子どもたちと一緒に、校舎に感謝する気持ちを持たせ、心を磨きます。 ③ 合唱活動を盛んにして、感動する心を育てます。 ④ ボランティア活動など「地域に貢献する学校」を目指します。地域行事には、子どもたちを多数参加させます。	① 教育相談等により、「学校が楽しい」100%を目指します。 ② 情報メディア(スマホ)と生活リズム(早寝)を指導します。 ③ 全校トレーニングで、基礎体力の向上に努めます。(新体力テストで全国平均超80%とA級合格50%以上を目指します) ④ 朝食摂取率100%、むし菌処置率100%を目指します。
生徒	① 家庭学習「1年生70分・2年生80分・3年生90分」を毎日取り組みます。 ② 5教科50問テストで、合格(80点以上)を目指します。 ③ 各種検定に挑戦します。 ④ 読書「年間12冊以上」を達成します。(図書委員会と連携) ⑤ 海洋について学び、「洋野町ふるさと特別大使」として郷土の良さを発信します。	① 元気で明るいあいさつをします。(応援委員会と連携) ② 中野中三大文化「合唱(愛)・清掃(恩)・ボランティア(想)」を継承・発展させます。 ③ 中野中ソランを継承し、地域行事に積極的に参加します。 ④ 地域行事やボランティア活動などに積極的に参加して、地域づくりに協力します。	① スマホ等のルールを守り、睡眠リズムを整えます。 ② 部活動や全校トレーニングを通して、積極的に体力向上に取り組みます。 ③ 「洋野町中学生いじめ追放5か条」を守り、いじめのない学校づくりに取り組みます。 ④ 毎日、朝食を食べます。 ⑤ 徒歩や自転車での登校をがんばります。
保護者等	① 子どもが家庭学習や読書に集中できるよう、学習環境づくりに努めます。 ② 定期テスト前の部活動停止期間中は、ノーテレビ、ノーゲームを守らせ、親も読書に親しまふなどの姿を見せます。	① 子どもとの会話を大切に、情報モラル「家族みんなスマホのルール」に取り組みます。 ② 家庭・地域で、子どもたちにあいさつや声掛けをし、がんばりをほめるなど、健全育成に取り組まします。	① 生活リズム「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組みます。 ② 朝食摂取率100%、むし菌処置率100%(むし菌治療)に取り組まします。 ③ できるだけ徒歩や自転車登校させます。(体力づくり)

最後の項目が保護者(家庭)への働きかけとなっています。小学校から中学校へスムーズな連結ができるよう、9年間の学びを示しています。

3 「家庭学習強化週間」の共同取組

中学校のテスト期間に合わせた「家庭学習強化週間」では、「ノーメディアデー」の取組も行っている。各家庭でテレビを消すなどの学習環境を整えることや家庭でのゲームについてのきまりを確認する機会にもしている。

また、保護者に対して共同取組の内容を説明し、取組の様子の記録もお願いした。さらに、家庭学習の際には「どうしてそう考えた?」「どういうやり方が教えて?」という声かけをするようお願いしている。

平成29年度 第2回家庭学習強化作戦（ノーマディア）

6年 名前

- ① 家庭学習時間（小中学生とも）は、テレビを消します。
 ※中学生が勉強しているときは、小学生も協力します。
 ② 各家庭でゲーム等の決まりを決める。
 【記入の仕方】 守れた：○ 守れなかった：△

	25日 (月)	26日 (火)	27日 (水)	28日 (木)
① 家庭学習の時は、テレビを消します。（小中学生とも）	○	○	○	○
② 我が家のゲームの決まり 宿題が終わってから、ゲームをする。	○	○	○	○

【子どもの感想】
 テレビを消して学習して
 いつもは、テレビをつけたまま
 学習をしているけど、いつもより集中
 してできました。これから、続け

【お家の方の感想】
 中学生の姉も一緒に、テレビを
 消して学習に取り組めました。
 集中して学習できたようです。
 普段より

子供や保護者からも肯定的な感想が多かった。地域全体で取り組むことにより中学校に兄弟がいない家庭にも浸透した。

平成29年度 第2回家庭学習強化作戦（ノーマディア）

1年

- ① 家庭学習時間（小中学生とも）は、テレビを消します。
 ※中学生が勉強しているときは、小学生も協力します。
 ② 各家庭でゲーム等の決まりを決める。
 【記入の仕方】 守れた：○ 守れなかった：△

	25日 (月)	26日 (火)	27日 (水)	28日 (木)
① 家庭学習の時は、テレビを消します。（小中学生とも）	○	○	○	○
② 我が家のゲームの決まり 宿題が終わったら 長い時間してはいけない	○	○	○	○

【子どもの感想】
 まいにちテレビ
 を消さないで勉強
 しているのはいい
 ですね。

【お家の方の感想】
 いつもテレビを付けて宿題
 をしています。ゲームについても
 再確認になり、良い取り組み
 になりました。

IV 授業力向上

授業力向上のために授業改善の取組を行っている。特に、3年前から研究を進めている特別の教育課程「海洋科」を中心に、問題解決学習となる授業構想、「いわての授業づくり3つの視点」にある「学習の見通し、課題を解決するための学習活動、学習の振り返り」を位置付けた授業実践をしている。

また、研究会を伴う授業研究会を全担任が行い、指導改善を図っている。さらに定期的に町内指導主事に授業を参観していただき、個別に指導を受けることで、教師一人一人の授業力向上に努めている。

【成果】

- ・年度当初に諸調査の結果を全職員で共有したことで、該当学年の課題とすることなく、学校全体の課題として、各学年の単元等をチェックし、普段の授業の中で確実な学力の定着を図ることができた。
- ・朝学習、放課後補充、期末補充を全職員の協力を得ながら行うことで、全職員が学力保障の取組について共通理解を図ることができた。
- ・中学校と積極的に連携することで、小中の指導についての共通理解が図られ、義務教育9年間で子供を育てていくという意識が高まった。
- ・ノーマディアデーの取組など家庭学習の取り組み方を小中で同じように進めたことから、地域に内容が浸透し、一人一人の家庭学習の量と質を向上させることができた。
- ・各種調査の実施の意義や結果の分析などを校報で知らせることにより、学力保障について家庭からの積極的な協力を得ることができた。
- ・平成29年度岩手県学習定着度状況調査の5年生国語科においては、全領域で県比を上回った。重点「書くこと」の領域も県比116で着実に向上しており、学力向上に向けた取り組みの成果が現れてきている。

H28年度県学調			H29年度県学調		
国語	正答率	県比	国語	正答率	県比
話聞	64.7%	104.4%	話聞	71.4%	108.2%
書く	17.6%	32.7%	書く	53.6%	116%
読む	67.6%	105.2%	読む	55.7%	103.9%
伝統	75.5%	108.7%	伝統	78.6%	114.1%
合計	66.9%	102.6%	合計	67.9%	106.8%